

Basketball information magazine delivered by on the court

# HUSTLE BOARD

BASKETBALL COMMUNICATION PAPER

VOLUME 002



TAKE FREE

ご自由にお持ちください。

2023年10月20日発行  
発行/(株)オンザコート  
<http://www.onthecourt.jp/>

## SPECIAL FEATURE KOBE STORKS

...06

- 04 OTCくきや(プレー)  
OTCくきや(お仕事)
- 08 ワールドカップ2023
- 10 報徳学園高校
- 11 三股中学校
- 12 **HOOPREX**
- 14 Nissy's TRAVELING TALK
- 15 TOPIX
- 16 コラム・プレゼント

豪華プレゼントが  
当たる!!



モルテン ワールドカップ 2023  
決勝戦専用公式試合球

アシックス 河村勇輝選手モデル  
バスケットシューズ

神戸ストークス  
観戦ペアチケット



トップリーグ探訪

BASKETBALL  
EXPLORING THE

TOP  
LEAGUE

...02

DENSO Iris  
TOYOTA BOSHOKU Sunshine Rabbits  
YAMANASHI Queenbees  
HIMEJI Egrets



Involved in basketball for everyone.  
2023  
10



# BASKETBALL LEAGUE



## デンソーアイリス



「去年よりレベルアップして、必ず日本一になる」と決意を固めるPG木村亜美

昨季のデンソーは、勝ち点でトヨタ自動車と並んだものの、当該チーム間の成績で上回りレギュラーシーズン1位を確保した。プレーオフはセミファイナルから登場し、対戦相手はENEOS。過去2シーズン勝てていない宿敵だが、ここで一矢を報い、ファイナル進出を果たしたところ……だったが、またもや跳ね返されてしまった。

「悔しさはありますが、もう次に目を向けています」と、コーチ・オブ・ザ・イヤーを受賞したウラディミール・ヴクサノヴィッチヘッドコーチは、今季の準備に余念がない。

昨季を超えるところからスタート



その実力とともに豊富な経験でチームに活力を与えるPF馬瓜エブリン

充実のロスターで頂点へ

ベテランから高卒ルーキーまで多彩なキャリアの選手がそろったデンソーアイリス。今季サブキャプテンを務める赤穂さくらと篠原華実、渡部友里奈を加えた「1996年組」の3選手が、チームの魅力を教えてくれた。

「ヴクサノヴィッチ（ヴラダ）HCって、どんな人？」

【渡部友里奈】優しく、みんなのことをよく見ている。選手の意見もちゃんと聞いてくれるし、それを反映してくれるから、コミュニケーションがすごく取りやすい。

【赤穂さくら】あと付け加えると…身長が大きい（一同爆笑）、本当に大きい（207cm）。いつもこうやって（斜め上目線）喋るもん。あと、他チームから「格好いい」と言われるのも自慢できるところかな。

【篠原華実】個人的な話だけど（キリッ）、私はヴラダHCのバスケットに出会って、初めてバスケットが楽しいって思った。頭を使うヨーロッパスタイルで面白い。プレーしていて難しいけど楽しいよね。

「推し選手、いる？」

【さくら】#3平賀真帆選手！自分は後輩と関わるのが結構苦手だったけど、年が離れても、本当にかわいいなと思う。見た目はクールな感じだけど妹気質というか。

【篠原】私も同意見。言葉は悪いけど「いちいちかわいい」よね。あとプレーとのギャップにも注目してほしい。NBAが好きで男子っぽいプレーというか、見ている人を引きつけるプレーが魅力。これ説明したの（さくらではなく）私だからね！

【渡部】私は木村選手。アイドルみたいだね、仕事も。ただプレーはもうあの感じ、負けん気強いよね。内に秘める闘志が凄いいつか、こっちはギャップが魅力だね。

「アイリスの魅力は？」

【さくら】チーム力かな。去年もそうだったけど、選手はもちろんスタッフ、ファンの人との一体感がすごく、今年もそうなるようにチームを作っていきたい。

【篠原】1人1人に個性があって、それが噛み合った時にいいチームになったと去年は感じた。今年はその土台の上に新たな力も加わってさらにいいチームになっているね。

【渡部】プレー面でも、プレー以外でも過ごしやすい環境があることは結構大事。一緒にいることが大事な時もあれば、そうでない時間も大事で、その程よい距離感を保ちながらチームとしていい関係を作っている、デンソーアイリスはそんな「過ごしやすい」チームだね（一同納得）。よし、うまく締まったぞ！

キャプテンを務めるのは#88赤穂ひまわり選手。昨季はチーム一のプレータイムとリバウンド数を記録し、切れ味鋭いドライブも健在。「オフセンスで大きな役割を果たしてくれるはず」と、HCの期待は大きい。チームの大黒柱は#8高田真希選手。赤穂ひまわり選手、#18数未奈海選手とともに銀メダルを獲得した第19回アジア競技大会（9月26日～10月5日、中国・杭州）に日本代表として参加しており、チーム練習への参加に制限はあるがそこは心配ご無用！今季も大いに活躍してくれること間違いなしだ。

他にも#6本川紗奈生選手や#12赤穂さくら選手、#32永田萌絵選手らベテラン・中堅たちが攻



選手からの信頼も厚い「ヴラダ」こと、ヴクサノヴィッチHC

まだ見たことのない景色

「人生の夏休み」と称して休養期間に入り、さまざまな活動を行っていた馬瓜選手が復帰に際してデンソーを選んだ。

「高田選手を手ぶら（無冠）で終わらせるわけにはいかない」と思ったのも、一つのきっかけです」という名セリフとともにコートに戻ってきた。今野選手については未知数な部分はあるものの、NCAAファイナルフォーでプレーした実力は折り紙付き。もう1人のルーキー、日本代表入りした数選手のハッラッププレーも楽しみにしたい。

馬瓜選手のコメントにあったように、高田選手は未だリーグ優勝を経験していない。つまりそれはチームも同じ。今季は何としても頂点へ。ヴクサノヴィッチ流のバスケットが浸透し、円熟味を増した今季は、大いにチャンスがある。

守に安定感のあるプレーを披露する。ゲームをコントロールする先発PGは、昨季から急成長の#13木村亜美選手が務める。

ベテラン、中堅、若手とバランスの良いロスターに、さらにインパクトを与える選手が加わった。経験豊富な#0馬瓜エブリン選手と、注目のルーキー#73今野紀花選手の加入だ。



ゲームの流れを読む司令塔としての役割が期待されるPG宮坂桃菜



指揮官としての初年度、選手の声に耳を傾ける石川幸子HC

挨拶「石川 幸子さま」

現役を引退してから3年ちょっとの間、一緒に仕事をさせてもらいました。本当に優しい人で、出先でお客様に「石川さんだ〜」って声をかけられても気さくに、丁寧に対応していたのが強く印象に残っています。選手にも細やかな気遣いで接して上昇させてくれると思いますが、頑張りすぎないでね、幸子さん！

オンザコート社員（東北担当）上総 浩子



昨年に続き主軸としてリーグに臨むPG土田帆乃香



キャプテン#14濱西七海選手をはじめ、#30土田帆乃香選手、#45渡邊愛加選手らがチームを牽引。#13若原愛美選手、#15中山彩奈選手、#17片山菜々選手、#72出原菜月選手がプレータイムを伸ばしてきた。新戦力の#38宮坂桃菜選手は、「若いチームで走り負けない力があると思う。その中でゲームを落ち着かせる役割を果たしたい」と抱負を語る。

チームにとつて心強いのは熱心な地元ファンの存在。アウェーの会場でも響く声援を力に変えてプレーオフ進出を狙う。



## 山梨クイーンビーズ



ルーキーながら冷静なゲーム運びで魅せるPG都野七海

## トップリング探訪

## WOMEN'S JAPAN

10月から開幕する第25回Wリーグ。国際大会における女子日本代表の躍進もあって、かつてないほど注目を集める今シーズンをどう観る？

text by Kohei Minato  
photographs by Shin OyamaルーカスHCのバスケットを体現する  
C河村美幸

## ハイレベルな争いを勝ち抜くために

2019-22年までトヨタ自動車率いて連覇を成し遂げた名将、ルーカス・モンデローヘッドコーチがWリーグに戻ってきた。今度はここ、トヨタ紡織で手腕を発揮するために。

「現在Wリーグでプレーする選手たちの中には、世界レベルの選手がたくさんいます」というモンデローHC。日本の女子バスケットを知り、Wリーグを勝ち抜く術を心得ている。

昨季のトヨタ紡織はレギュラーシーズン16勝10敗。セミクォーターファイナルでシャンソン化粧品に敗れたが、第4クォーター中盤ま



でリードしていたにもかかわらず、残り5分を切った逆転を許す悔しい幕切れだった。

モンデローHCに託された使命は、もう1つ上のステージで勝負できるようなしつかり基礎を固めつつ、頂点を狙えるチームづくり。

「すぐに取り組んでできるだけ早く成果を出したい。大事なのは選手一人ひとりではなくて、チームとしていかに成長するか」。指揮官の熱い言葉に選手たちも奮い立つ。

「モンデローHCのスタイルはシステムやフォーメーションがとて複雑。ただ、求められているものが少しずつ形になっていきます。トヨタ自動車時代と同じで、少しずつよくなるという確信があります」(#45河村選手)。

「PGとしてとてもいい経験をさせてもらっています。要所を押さえてゲームコントロールしつ



Wリーグで再び指揮を執るルーカス・モンデローHC

つ、自分が狙っていく瞬間もつくりたいと思います」(#7都野七海選手)

早くもモンデロー効果は絶大。チーム一丸となって今季の戦いに挑む。

## シーズンを通して成長し続けること

日本代表の#8東藤なな子選手をはじめ#15加藤優希選手やベテランセンター、キャプテンを務める河村選手がチームの核となる。ルーキーの都野選手や#10平下結貴選手、#18伊波美空選手らは、「シーズンを通してメインプレイヤーになることを期待しています」(モンデローHC)と要注目の成長株。新加入の#21米谷帆芽、#28北村悠貴両選手はオースタムカップで、すでに主軸を担う働きを見せた。

ヘッドコーチが言う通り、世界レベルの選手たちが競い合うWリーグ。シーズンを通して成長すればチームの優勝はもちろん、個人としてもさらに大きなチャレンジができる、誰もがそう実感するはずだ。

得点源としての飛躍が期待されるSG石牧葵



「得点王がいなくなるんだから、正直どうなることかと不安だった」というのは、伊與田好彦HCの偽らざる心境だろう。しかしながら、新チームが始動すると不安は少しずつ解消され、開幕前のオースタムカップでは手応えを感じるようになっていた。チームは6人の新人選手を迎えたが、ディフェンス重視のチームづくりは不変。

「イーグレッツはディフェンスからだよ、というコンセプトを新人たちがよく理解しています。既存の選手たちも含め、脚を使った

「イーグレッツはディフェンスからだよ、というコンセプトを新人たちがよく理解しています。既存の選手たちも含め、脚を使った



姫路での2季目、戦術の徹底を目指す伊與田好彦HC

と、伊與田HCはふり返る。ハツラツとプレーするルーキーたちの活躍に刺激を受け、既存の選手たちのモチベーションも大いに上がっている。これからの果敢にチャレンジすることで、さらなる自信を得ていくはずだ。

と、伊與田HCはふり返る。ハツラツとプレーするルーキーたちの活躍に刺激を受け、既存の選手たちのモチベーションも大いに上がっている。これからの果敢にチャレンジすることで、さらなる自信を得ていくはずだ。

ディフェンスから素早いトランジションでオフエンスへ、という考え方をもう一度徹底することができました」という言葉通り、そのオースタムカップでは秋田銀行を相手に、103-81のハイスコアゲームで勝利を収めた。

ただし、本当に良かったのは前日の試合。トヨタ紡織を相手に66-69という惜敗。敗れはしたものの、「最後まで食らいつけたのがよかった。選手たちが『やればできる』というメンタルでプレーを続けられたのが大きい」と



フィジカル強化でインサイドでの力強さが増したC須永麻美



姫路イーグレッツ



AS A BASKETBALL PLAYER

# プレイヤーのかお

OTC  
*Kukiya*

監修 本間(薬師寺) 伶  
Supervised by Rei Honma  
宮崎県出身。延岡学園高〜環太平洋大〜OTCくきやでプレー後、現在アシスタントコーチ。2011年FIBA U-19世界選手権出場(7位)。



18 杉本 舞  
MAI SUGIMOTO



15 豊田 有紗  
ARISA TOYODA



19 西山 美優  
MIYUU NISHIYAMA



12 比嘉 すずな  
SUZUNA HIGA



7 阿部 瑞稀  
MIZUKI ABE



11 藤田 真生  
MAO FUJITA



6 屋宜 百合香  
YURIKA YAGI

頼れる主将・屋宜 百合香(ツイ) ↑  
「いつもOTCくきやを応援していただき、ありがとうございます。今季の開幕カードでは、チームとして徹底するべきことができていませんでしたが、後半戦に向けて日頃の練習から一つ一つのプレー精度を上げていきたいです。これから(チーム力が)レベルアップしたOTCくきやを楽しみにしています！」



8 山口 萌瑠  
MERU YAMAGUCHI



13 佐坂 明音  
MINON SASAKA



14 田代 ゆい  
YUI TASHIRO



10 陳岡 沙亜羅  
SAARA JINGAOKA



9 矢田 貴海  
KIMI YATA

国内アマチュアリーグの最高峰に位置付けられる地域リーグ。男子は7ブロック、女子は3ブロックに分かれ、現在は約半年間にわたって続くリーグ戦の真っ只中。オンザコート社員を中心に構成し、西日本地域リーグ(8チーム)に参戦する女子チーム「OTCくきや」の選手を紹介します。



「アマチュアのプライド」で観る人に希望を与える地域リーグ。来年度から、チーム戦力などを踏まえて選ばれた男子8チーム、女子6チーム(下記参照)による2回戦総当たりのリーグ戦「トップリーグ(仮称)」も始まる。プロもアマチュアも「日本一丸」で「バスケットで日本を元気に」する。

【男子】 JR東日本秋田PECKERS(秋田県)、山形クベラ(山形県)、プロテリアル ブルドッグス(茨城県)、黒田電気Bullet Spirits(東京都)、横河電機WILDBLUE(東京都)、日本無線(東京都)、富士通(神奈川県)、九州電力アーティサンス(福岡県)  
【女子】 秋田銀行(秋田県)、山形銀行(山形県)、ミツウロコ(東京都)、滋賀銀行LakeVenus(滋賀県)、紀陽銀行ハートビーツ(和歌山県)、鶴屋百貨店(熊本県)



AS A WORKER

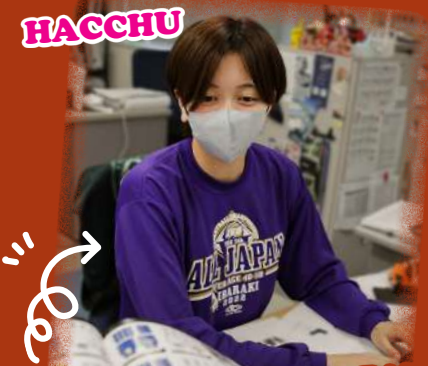
# お仕事のかお

国内アマチュア日本一を目指しているOTCくきやのメンバーは、他の地域リーグチームと同様、日々仕事との「二刀流」をこなしています。バスケットボール専門メーカー「ON THE COURT」で働く彼女たちの仕事内容を、少しでも紹介します。

やってきました、商品が！ 一気に届くのはほとんど朝です。荷受け作業は体力も必要ですが、段取りとチームワークも大事。福岡出身のルーキー「ユイ」田代ゆい選手は元気に箱を受け取ってくれました。

お客様の注文通りに、届いた商品の素材や色、デザイン、サイズ、数などがそろっているかを確認する検品作業に集中する「ラオ」こと陣岡沙亜羅選手。発注書と商品を並べて、細部まで目を光らせます。

HACCHU



全国各地にあるオンザコート商品の取り扱い店舗から届く注文を正確に、素早く形にします。素材やデザイン、品番、サイズ、個数などを確認し、発注作業を行っているのは「エリ」こと矢田貴海選手です。

SEISAN KANRI



素材となる商品の在庫や流れを把握し、生産工場への発注状況をチェックしているのは「スズ」比嘉すずな選手。パソコンにずらりと並ぶ数字を見ながら生産管理し、今後の在庫予測もしています。

KATAIRE



ユニホームなどのデザインを、実際に工場で製造作業ができるようにパソコンソフトを使って型入れする「ツイ」こと屋宜百合香選手。細かい作業が続きますが笑顔で応じてくれました。

KENPIN

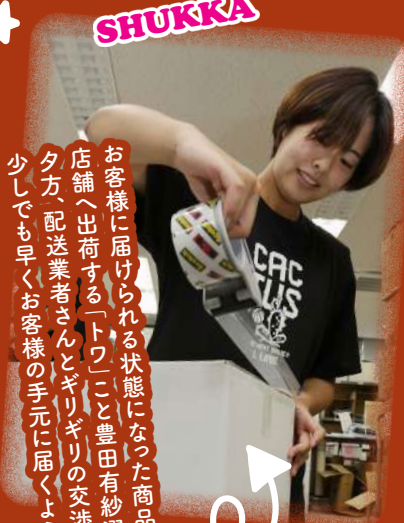


TATAMI



検品したTシャツを、ひたすらきれいにたたみ続ける「ミュ」西山美優選手です。社内には見とれてしまうほどたたみ作業が丁寧で素早いマスター（達人）もいて、西山選手は若手のホープです。

SHUKKA



お客様に届けられる状態になった商品を箱に詰め、店舗へ出荷する「トワ」こと豊田有紗選手。夕方、配送業者さんとギリギリの交渉を行いつつ、少しでも早くお客様の手元に届くよう大急ぎです。

ATSUME



本社倉庫内にある無地商品（デザイン加工前の商品）を集めている「マイ」杉本舞選手。リストにある品番、色、サイズを間違えることなく素早く集め、加工の現場へとつながっていきます。

KAKOU



本社内にもある加工場で、昇華プリントの出来上りを確認する「ヨシ」こと佐坂明音選手。今季加入した佐坂三姉妹の次女は、ここだけの話ですが絵を描くのが非常に上手です。

TENJIKAI



年2回、取り扱い店の皆さんに、展示会で新商品の紹介をします。「ミキ」こと阿部瑞稀選手は9月、スーツに身を包んでご案内しながら、来春に店頭に進みます。商品の準備が進みます。

column

オンザコート社員  
コラム

半田彩の  
イチ推し！

NCAA 2023-24シーズン 注目ポイント！！

もうすぐシーズンが始まるNCAA(全米大学体育協会)女子。私の個人的な見どころとして、カレッジバスケット最終年となる3選手を紹介します。



AYA HANDA  
半田 彩

1997年福岡県出身。福大若葉高から福岡大を経て2019年オンザコート入社。昨季までOTCくきやでプレー（コートネームはイチ）のバスケット歴17年女子。ページ・ベッカーズのプレーを現地観戦するのが夢。

1人目は超名門コネチカット大学（通算優勝回数最多の11回）のページ・ベッカーズ（Paige Bueckers）。膝のケガで昨シーズンプレーしていないものの入学当初より期待され、昨シーズン現役を退いた大先輩でレジェンドのスー・バード（五輪金メダル5度獲得）と比較されるほどの超逸材。昨年はSweet16（16強）で敗退となったチームを勝利へ導いて、伝説の選手にグッと近づけるか注目です。

2人目は昨シーズン終了後にルイビル大学からトランスファー（転校）を表明して周囲を驚かせたヘイリー・ヴァンリス（Hailey Van Lith）。ページと同じく入学当初より先発ポイントガードを務め2021年はFinal4（4強・準決勝）、昨シーズンはElite8（8強・準々決勝）ヘチームを導いたスターがカレッジ最終年に選んだチームは、昨年優勝のLSU（ルイジアナ州立大学）。MVPのエンジェル・リースと最強デュオが誕生した今シーズンは優勝候補の筆頭。BACK TO BACK（2連覇）なるか。

最後はこの人。2024 WNBAドラフトで1位指名が確実視されている昨シーズンの準優勝校アイオワ大学のケイトリン・クラーク（Caitlin Clark）。Elite8ではヘイリー率いるルイビル大学相手にトリプルダブル（41p.12a.10r）を叩き出した全米満場一致のNO.1ガードです。そのシュート力は女性版カーリーと言われるほどのエリートシュートメーカー。今年も得点能力大爆発で大暴れすること間違いなしです。

この3人には共通点があって、2019年にバンコクでおこなわれたU19ワールドカップの優勝メンバー（ちなみに日本は東藤なな子選手、今野紀花選手、石牧葵選手らが奮闘して8位）で、そしてポジションも全員ポイントガードなんです。現在はケイトリンが全米NO.1と目されていますがヘイリー、ページも誰もが認める実力をもっています。今シーズン、この3人のスーパースターの活躍に期待です！





## TOMOHIRO MORIYAMA

森山 知広 (モリヤマ トモヒロ)

1984年、福岡県出身。九州共立大八幡西高～仙台大。大阪の下部組織指導者だった2011年、「兵庫ストークス」のトライアウトを受けて合格しそうになったことがある。



# いざ、神戸

「外様」だからこそ、  
壊して変えることが出来る

チームを率いるのは森山知広ヘッドコーチ(HC)。Bリーグでは大阪を振り出しに島根、福岡でコーチングキャリアを重ね、HCとして福島(B2)をプレイオフに導いた後、22年シーズンからストークスの指揮官を務める。

「最初は驚くことがたくさんありましたよ。ベテランが多く自分たちだけで通用するルールがあった」と振り返る森山HCが気になったのは、栄養や休息といった体調管理。「僕はストークスと関わってこなかった外様だから、気兼ねなく伝えました」。そうなると思ってもありそうなのだが、対話を重ねていく中で選手たちは理解を深めた。そこは多様な文化を受け入れて発展してきたミナト神戸の気質かもしれない。チームスタッフもプロフェッショナルとしてのクラブ文化醸成に総力を挙げるようになる。昨季はスタートこそつまづいたものの、年が明けてから激しい守備に加えてオフENSEの連携が噛み合い、勝ち星が先行していく。4月にはB2最多入場者記録となる5,443人をグリーンアリーナ神戸(神戸市須磨区緑台)に呼び込んだ。プレーオフでは昇格した佐賀に敗れて昇格は果たせなかったが、A千葉との3位決定戦を制し、23、24シーズンにつながる形でシーズンを終えた。

全員が競争、その上で  
力を合わせた「タフネス」で勝負

「B.革新」を旗印に、2026年には「世界一型破りなライブスポーツエンタメ」となる未来を目指してリーグ構造が変わるBリーグ。2023年、フランチャイズの変更とともに、建設中の大規模次世代型アリーナを本拠地とすることが決定し、新たな船出を迎えたチームが西の港町から出帆する。新生、神戸ストークス。「ALL GREEN」を掲げて今季、14クラブが参戦するB2で戦い、2017-18シーズン以来のB1昇格を目指すチームだ。

建設中の「神戸アリーナ」を対岸に臨むポートアイランドにある、「ワールド記念ホール(神戸市中央区港島中町6)」が今季の主戦場となるストークス。戦術的には余白を残し、選手個人の自主性やクリエイティブティを尊重する指揮官だが、今季掲げるコンセプトは明確だ。それは「タフネス」。中でもチームの基礎となるのは攻めるディフェンス。「40分間、強度を落とさずに攻め続ける」守備を理想に掲げ、登録選手全員が競争しつつ、タイムシェアしながらのハードワークが見どころとなる。「フィジカル、メンタルともに全員がタフさを表現できれば、相手チームが嫌がるチームとして成長できる。トランジション、ルーズボール、スクリーンなどスタッツに残らないプレーをいかに大事にしているかも注目してほしい」と語る森山HC。長らくチームの中心として活躍してきた松崎賢人(育英高出)、谷直樹(甲南大出)、道原紀晃(神戸科技高出)、中西良太(神戸市出身)、渡邊翔太(関学大出)と地元出身選手が多く、新フランチャイズで悲願のB1昇格にかける思いは非常に強い。さらに昨季B2ブロック王のトレイ・ポーターが残留してケミストリーは上がっており、2季目の川島聖那は驚異のアスレチック能力で攻守に魅せるプレーが必見。帰化選手としてインサイドでの奮闘が期待されるカロンジ磯山パトリック、1対1での強さが光るジョーダン・キャロライン、オールラウンドにプレーできるアイザイア・アームウッドといった新戦力と、司令塔を務める綱井勇介がどう噛み合っていくかも新生ストークス成功のカギを握りそうだ。

日本におけるバスケットボール発展の歴史と深い関わりを持つ神戸。この地に2025年4月に誕生する神戸アリーナで、タフネスを緑の戦闘服に包んで「最高峰」の舞台に立つ男たちを観たい。



**SHOTA WATANABE**

#10 渡邊 翔太  
タイトな守備とスピード、日焼けした笑顔で魅了する副キャプテン



**NAOKI TANI**

#9 谷 直樹  
誰もが認めるエリートシューターであり続ける「ミスターストークス」



**NORIAKI DOHARA**

#13 道原 紀晃  
家族愛とチーム愛が抜群のオフェンススキルと同居する神戸っ子



**RYOTA NAKANISHI**

#1 中西 良太  
元日本代表ビッグマン。キャリアスタートは高校の元祖リアル桜木



**KENTO MATSUZAKI**

#3 松崎 賢人  
最年長となっても衰え知らずのクイクネスと愛されキャラは健在



**KOBE STORKS**



## 兵庫全体を盛り上げられるよう頑張ります。

道原 紀晃 選手

その金田選手…日本人選手の中では大きく、走れる強みを生かして活躍の幅を広げたいです。ただBでは外国籍選手がインサイドを務めることが多く、自分は2、3番ポジションにも取り組んでいます。インサイドの大きな選手に隠れることなくがむしゃらにリバウンドに飛び込んでいきます。今年は機会があれば試合でもダンクを決めたいと思います！

「フリのイチ推し選手」 ずばり、金田龍弥選手です。すごいポテンシャルを持っています。サイズは大きい(195cm)し、トランジションでも走れるし、めっちゃくちゃ跳びます。プロ選手となって意識も向上したと感じますね。これからストークスでさらに成長して、長く活躍してほしいです。

「チームに頼られる選手になることが目標です。」

川島 聖那 選手

## チームに頼られる選手になることが目標です。

「セナのイチ推し選手」 杉山裕介選手のディフェンスを、会場でできればコートに近い観客席で見てください。激しくプレッシャーをかけて、常にスティールやディフレクション(パスやドリブルのボールに触って軌道をそらす)を狙っています。

その杉山選手…実は(白鷺)大学に入ってからオフフェンスのレベルが高く、出場機会を得るためにディフェンスを意識したことがきっかけで、そこまで得意ではなかったんです。守備練習はまずはフットワーク、それから数多く1on1して、相手の動き出しを自分の中の型に当てはめて対応していく感じです。あと、僕は相手選手の目を見ます。次の動きが予測できるので、オフフェンスは調子の波があっても、ディフェンスは安定したパフォーマンスができるので、自信を持ってプレーできるよう心がけています。

### 神戸ストークス 2023年試合日程

	対戦チーム	会場	TIP OFF	
10月				
5(火)	ベルテックス静岡	静岡市中央体育館	19:00	静岡県
6(金)	ベルテックス静岡	静岡市中央体育館	19:00	静岡県
14(土)	バンビシャス奈良	ロートアリーナ奈良	17:00	奈良県
15(日)	バンビシャス奈良	ロートアリーナ奈良	14:00	奈良県
21(土)	山形ワイヴァンズ	南陽市民体育館	16:00	山形県
22(日)	山形ワイヴァンズ	南陽市民体育館	14:00	山形県
25(水)	ライジングゼファー福岡	ワールド記念ホール	19:00	兵庫県
28(土)	越谷アルファーズ	ワールド記念ホール	16:00	兵庫県
29(日)	越谷アルファーズ	ワールド記念ホール	14:00	兵庫県
11月				
4(土)	滋賀レイクス	ワールド記念ホール	16:00	兵庫県
5(日)	滋賀レイクス	ワールド記念ホール	14:00	兵庫県
11(土)	岩手ビッグブルズ	花巻市総合体育館アネックス	17:00	岩手県
12(日)	岩手ビッグブルズ	花巻市総合体育館アネックス	13:00	岩手県
18(土)	越谷アルファーズ	ウイング・ハット春日部	15:00	埼玉県
19(日)	越谷アルファーズ	ウイング・ハット春日部	14:00	埼玉県
25(土)	ベルテックス静岡	静岡市中央体育館	17:00	静岡県
26(日)	ベルテックス静岡	静岡市中央体育館	15:00	静岡県
12月				
1(金)	愛媛オレンジバイキングス	ヴィクトリーナ・ウイング体育館	19:00	兵庫県
2(土)	愛媛オレンジバイキングス	ヴィクトリーナ・ウイング体育館	14:00	兵庫県
9(土)	福島ファイヤーボンズ	ヴィクトリーナ・ウイング体育館	16:00	兵庫県
10(日)	福島ファイヤーボンズ	ヴィクトリーナ・ウイング体育館	14:00	兵庫県
15(金)	滋賀レイクス	洲本市文化体育館	19:00	兵庫県
16(土)	滋賀レイクス	洲本市文化体育館	14:00	兵庫県
20(水)	ライジングゼファー福岡	照葉横水ハウスアリーナ	19:00	福岡県
22(金)	愛媛オレンジバイキングス	松山市総合コミュニティセンター	19:00	愛媛県
23(土)	愛媛オレンジバイキングス	松山市総合コミュニティセンター	14:10	愛媛県
29(金)	アルティイリ千葉	西宮市立中央体育館	19:00	兵庫県
30(土)	アルティイリ千葉	西宮市立中央体育館	14:00	兵庫県

## KOBE ARENA 2025 OPEN!



ミナト神戸・新港第2突堤で進む、神戸アリーナプロジェクト  
次世代に誇るランドマークは2025年4月、その姿を現す  
阪神・淡路大震災からちょうど30年となる節目の年  
不死鳥のごとく世界へとはばたく姿を想起させて  
ストークスはじめ多様なイベントの舞台となる  
270度海に囲まれたウォーターフロント  
吹き抜ける潮風は何を運ぶだろう  
煌めく夜景が照らし出すものは  
それはきっと、熱狂、共感、協創による新たな価値  
神戸から「この世界の心拍数を、上げていく。」



# BASKETBALL WORLD CUP

2023 World Cup seen from various perspectives.

夏の終わり、世界中が熱狂したFIBAワールドカップ2023。その熱気を異なる場所と視点で目撃した3人が、それぞれのアツい思いを語る。

**NBAやNCAA、FIBA主催の大会などを長年取材するライター、青木崇さん。**  
**今大会をフィリピン・マニラで開幕から決勝戦まで目撃した第一人者に、世界の潮流を聞いた。**

## 今大会、どんな大会だったのでしょうか

アルゼンチン(世界ランク7位の強豪)が米大陸予選の最後にドミニカ(18位、ガルシアヘッドコーチは元アルゼンチン代表HC)に負けて本選に出られませんでした。他にもクロアチア(30位)が欧州1次予選(フィンランド、スロベニアと同組)で敗退。サトランスキー(Tomas Satoransky)らに続く選手が育っていないチェコ(19位)も届かないなど、ヨーロッパは世代交代が失敗すると厳しい。そんな中、コーチ「ベップ」(アンゴラ代表のジョゼップ・クラロス・カナルスHC)は、日本(26位)、ラトビア(8位)、フィンランド(20位)が非常にレベルアップしていると話していました。特にラトビアは今回、間違いなく実力を証明しました。優勝したドイツ(3位)に最も「ヤバイ」と思わせたチーム。イタリア人ヘッドコーチの記者会見は喋り出したら止まらない感じで面白かったですね。フランス(9位)はうまくいかなかったけど、自国開催の五輪前で良かったと思います。良い意味で引き締めになるし、コレ(Vincent Collet)HC体制が約15年続きましたが、おそらくパリで最後でしょう。ウエンビー(Victor Wembanyama)が出たいと言っていますし、オリンピックに照準合わせてきますよ。W杯に比べると日程が楽最大6試合、W杯は8試合です。ちなみにエンビード(Joel Embiid)は、代表でプレーする場合はアメリカに決めましたからね。

地元開催だったフィリピン(38位)は、クラクソン(Jordan Clarkson)の合流遅れが現地を取りざたされていました。初戦のドミニカに勝てなかった(81-87)のが致命的、アンゴラ(34位)に負けたのは大誤算(70-80)で、その後のチームは大会後も混乱、迷走してしまいました。

面白かったチームは、南スーダン(31位)。元ブルズのデン(Luol Deng)が会長で、NBAアカデミーアフリカのメソッドと、世界一長身の部族デインカ族がいる強みもあります。他のアフリカのチームは戦術的にヨーロッパテイストですが、南スーダンはアメリカンテイスト。パリ五輪ではヨーロッパのチームにひと泡吹かせる可能性はあり

ますよ。ボル・ボル(Boi Bo)にもデン会長は声をかけるのではないのでしょうか。

優勝したドイツは、去年のユーロバスケットでメダルを取った経験が大きかったのでは。長期計画で土台は変わらずに続けてきて、シュルルダー(Dennis Schröder)の求心力というか、代表に対するコミットする姿勢、プレーする意義というのを彼はすごく表現して、チームに素晴らしい影響を与えたと思います。

五輪出場権を得るという最低限の結果を残したアメリカ(1位)は、パリにはベテラン選手が出るかどうか話題になっていますが、スーパースターが出たからといって勝てる(金メダル)保証はありません。それぐらい世界の各国のレベルが上がっています。

## 五輪出場権を得られなかったチームは最終予選で戦いますね

ラトビアやリトアニア(10位)、スロベニア(11位)、スペイン(2位)もそうだし、今回出なかったクロアチアも出ます。そんなヨーロッパ勢がひしめき合うところにアジア勢が入ることを考えると、正直NOチャンスですね。日本以外1次ラウンド全敗だったアジアはもしかすると次回以降、W杯の出場枠が減るのではないかと心配になります。アフリカ勢は今回、全5チームが1次Rで1勝しましたしね。最終予選での最注目目はラトビアです。ポルジンギス(Kristaps Porzingis)が出るか出ないかで変わってくる。それとスロベ

ニア。ルカ(Luka Dončić)の支配力と周囲とのバランスがなかなか難しくなっているような気がします。なんにせよヨーロッパはすべて要注目です。トルコ(24位)はプレ予選でクロアチアに負けて出られないし、アルゼンチンもプレ予選でバハマ(57位、ただしNBA選手のディアン・ドレイ・エイトン、バディ・ヒールド、エリック・ゴードンが参戦)に負けて出られないわけで、最終予選自体のハードルも非常に高くなっています。

## 勢力地図が変わってきたのでしょうか

アフリカはNBAアカデミー、アフリカリーグもあり、リソース(資源)が豊かでアフリカ大陸予選も競争が激しくなっています。今後アフリカの枠が増えてもおかしくない。そうすると影響を受けるのはアジアかもしれない。今回、中国が大敗したこともFIBAにとっては懸念材料ではないでしょうか。

ただその中で、日本代表の活躍はホームコートアドバンテージがあつたとしても、多くの関係者から称賛されました。今後の課題はニュートラルでどれだけ戦えるか、パリ五輪が指標になると思います。個人的にはジェイコブス晶や川島悠翔ら若手が食い込めるかにも注目しています。八村塁に関しては、本人が出ると明言することが大前提で、あとはレイカーズのシーズンがどこまでいくのかいいうのも影響するでしょうね。



## TAKASHI AOKI

青木 崇 (アオキ タカシ)

バスケットボールライター

群馬県前橋市出身。月刊バスケットボール、HOOPの編集者を務めた後、98年からライターとしてアメリカ・ミシガン州を拠点に12年間、NBA、WNBA、NCAA、FIBAワールドカップなど様々なバスケットボール・イベント取材。2011年から地元に戻り、高校生やトップリーグといった国内、NIKE ALL ASIA CAMPなどアジアでの取材機会を増やし、幅広く活動している。



日本代表以外の  
のサポーター  
が店に来るこ  
とも？

バスケットボールプロシヨップ  
「ステップバイステップ」勤務  
1994年沖繩生まれ。中学1年で  
バスケを始め、北京オリンピッ  
クの決勝戦を観てNBAに興味  
が湧きどっぷり没かる。その後  
ニューヨークニックスを追いか  
けるうちにバスケットボールを  
仕事にしたいと思い、現職。プ  
レイヤーとしても活動する。オン  
ザコートの新島氏(14P参照)を師  
匠と崇める。

とももとバスケットの熱い沖繩、  
 これからどうなっていくですか？

そもそもW杯に至る流れが凄いいことになって  
 いたと思います。まず昨季、琉球ゴールデンキ  
 ングスが優勝しました。そしてやつぱりスラムダ  
 ンク劇場版が後押ししてくれたと思いますね。  
 宮城リョータにフオーカスを当てて、沖繩の話

も凄かったですよ。出迎え客もすごく多く  
れを見て、本当に沖縄でワールドカップや

熱狂の中心地となった沖縄。那覇市のバスケットボールプロシヨップのスタッフ、與那嶺倭さんに現地の盛り上がりを振り返ってもらおう。

ズバリ、  
なぜ勝てたんですか？

私がかつて米国でカレッジフットボールやNFL、NBAを取材していたとき、よくコーチ陣が選手に対して求められる最後の項目としてEXPERIENCE(経験)という言葉を口にしていました。「実戦経験を積む」ということでしょうが、実は私には物足りない説明で、長い間、それを掘り下げるとういうことなのか? と考えていました。

しかしその疑問はようやく解けた感じがします。今回の日本は後半に粘り、走り勝っていただけでなく、富永、比江島、河村各選手といったその日「大当たり」になっている選手を見つけるのがとてもうまくいった。対戦相手の第1ターゲットはNBAでプレーしている渡邊選手であり情報を多く持っていたはずですが、その他の選手に対しては

日本に試行錯誤する中で、これまでうまくいかなかった部分を軌道に乗せ、敗色濃厚だった試合をチーム全体で組みなおしてあるべき姿に戻しました。そこには体力的にギリギリの状況だったコート上の5人がすこしずつ苦しみをシェアして、穴を埋めていった姿がうかがえます。これは1人ではできません。この手続きをフィナンランド戦でやってのけたことでやっと「経験値」というものが生まれ、それがベネズエラ戦につながった感じでした。短期間に成し遂げたことで、漠然としていた「経験」という言葉が実体化したように見えました。

長年の課題であるインサイドは

ホーキンソン選手の存在も大きかった。日本が「経験」という名の武器を手にした背景には、彼の攻守両面における奮闘が光りました。ワシントン州立大時代、彼は3年連続で得点とリバウンドとともに2ケタの数字を記録する年間ダブルダブルを達成しています。3点シュートの成功率は4年生時で40.6%。Bリーグ所属のNCAA経験者の中でも優秀な成績を残していた選手でした。センターでありながらカーポ・ベルデ戦では、自陣でリバウンドをキープしたあと一人でボールを運んでシュートまで決めてしまうコースト・トゥ・コーストを完成させましたが、帰化選手でそんなことをやってのける日本人

今からパリ五輪が楽しみに

歓喜にひたつているときには書きにくかった私個人としての注文をひとつ述べておきます。日本は富永、比江島という優秀なシューターを擁しているのです。実際、彼らのどちらかが「ゾーン」に入ったときには日本は勝ちました。ただ、3ポイントを打っているシチュエーションの多くは、誰かがインサイドを突いたあととのキックアウト、さらにトップ・ポジションでのローリングを重ねてのスペース確保というパターンだけだったようにも見えました。せつつかく2人のシューターを持つているなら、もつと楽に3ポイントを打たせてやりたいところ。だから彼らを自由にする共同作業を五輪までに緻密に構築してほしいと思います。それが実現すれば、私は五輪での決勝トーナメント進出も夢ではないと信じています。

元スポーツニッポン新聞社コラムニスト  
1958年、北九州市出身。上智大卒。NBA  
のほかゴルフ、プロ野球、五輪、NFLなど  
を担当。NFLスーパーボウルや、マイケ  
ル・ジョーダン全盛時のNBAファイナル  
などを取材。シニア・バスケの全国大会  
には7年連続で出場。





HOTOKU GAKUEN SENIOR HIGH SCHOOL

# 報徳学園高校



報徳学園高校  
田中 敬監督  
TAKASHI TANAKA

1978年、兵庫県出身。須磨東高～大阪体育大～さいたまブロンコスなどで選手として活躍。指導者として神戸龍谷高女子を経て、2008年から現職。

インターハイ  
8強



HYOGO  
チーム  
探訪  
vol.1

スマートに勝利への適正解を追求「百折不撓」の精神であきらめないスパルタンズ



高校野球の強豪としても知られる報徳学園は甲子園球場のある兵庫県西宮市にある。閑静な住宅地の中にある男子校で、決して大きくはない体育館は中学と高校で1面ずつを使用する。チームを率いて16年目の田中敬監督はさいたまブロンコス（JB）でのプレー経験もある神戸出身の指揮官。この夏、2020年コロナ禍真っ只中の冬の全国ベスト8以来の全国上位に戻ってきた。

持ち前のスピード、シュート力に  
プラスする戦術理解度

「1回戦から準々決勝の日本航空（優勝校）戦まで、どの試合でもうちの良さ、いい部分は出せたかと思っています。ディフェンスでは固く守って、シュートまでいかれた場合でも相手メンバーの中で打たせるべきところに打たせる、という意識を実践できたところですね。夏の記憶をたどってもうひとつ、すぐにゲームプランと結果が出てきた。特に力を入れる守備では「全員が力を合わせて、インサイドとアウトサイドでタイミングをはかりながら連携すること」は常に確認し合っているという。

ただこの夏、北海道の会場で多くの観客が初日から日本航空戦まで目を見張ったのは報徳のオフエンスだった。相手チームの特徴に合わせて攻めどころを突いていく臨機応変、変幻自在の攻めは「それこそが8強まで勝ち上がった要因」と指揮官が振り返る通り、選手たちが大きく成長した部分だった。トランジション勝負とみれば#7森本虎志を中心にスピードを上げてファストブレイクを連発する。ハーフコートバスケットでもサイズのある留学生がインサイドを威圧しているなら、

ファイブアウトで相手ビッグマンを引き出し、そこからミスマッチを作り出してウィークポイントを探し出しながら攻める、という指揮官の狙いを選手たちが徹底して理解、実践できたことが結果につながり、注目度は日に日に高まった。

正しい選択のための  
「セオリー」を共有するために

観客を沸かせる華やかなプレーも多い報徳だが、田中監督の狙いは明確だ。「バスケットボールは適切な判断を連続して下していくスポーツ、ということを選手が理解して、個々が正しい判断を下せる『セオリー』を伝えていきます。オフエンスであれば守備の位置や動き、強度、ディフェンスなら攻撃の戦術やスキルも見極め、どう動くか考えるための決まり。その理解を深めるために映像を活用していて、ここ数年でもかなり増えました。ミーティングで適切な動きと適切な判断を共有して、チームみんなのものにしています。」

今年をあえてゴール地点を決めず、個人

もチームも最大限レベルアップすることを目標とする指揮官は、選手に伝える言葉を年々考えるようになったという。「厳しいことを言うべき場面でも、真意が伝わらなかつたら意味がない。それは私の目的も選手の目的も達成できないということ。1人1人をよく見て、ミスの理由を探して、理解して気づかせる。その繰り返しで成長してほしい。」「百折不撓」のフラッグがかかる体育館には、競技の本質を追求するスマートさと静かにたぎる情熱があふれていた。



指揮官が信頼を寄せる司令塔  
星原 甲治主将

（報徳学園中から同高）中学1年の時から隣のコートで高校生の練習を見てきました。お手本にしたのは宇都宮陸さん（京都産業大学3年）のクロスオーバー。自主練とか練習後の1対1を真剣に見て、真似できるよう練習しました。今年はどこからでも点が取れますが、悪い流れの時にシュートを決め切る選手になって勝利に貢献したいです。



## ◀ノードリブル4on4 練習

フルコートを使い、エンドからのスローインでスタートする「ドリブルなしの4対4」。OFFのポイントは「ボールも人も止めずに運ぶ」「パスと動き出しのタイミング、スペーシングが4人で適切になるように」「特にプレスDEFに対してボールと人が連動すること。DEFのポイントは「ボールの移動に即応して正しい位置を取る」「ヘルプの判断」「強度」がカギ。「特にOFFでボールを持つ時、しっかりと守備を見て動いていれば、正しいピボットの踏み方やパスの出し方が自然と身に付くはず」。

## 全国大会でも注目集まるスピードスター 森本 虎志

チーム全員が連動してどこからでも攻めることができるのが強みです。トランジションでは率先して切り込んで、苦しい時こそ流れを変えようと常に心がけています。個人的な課題はアウトサイドシュート。もっと成長して、冬はメインコートで暴れたいと思います。



高校生の隣で練習、  
初出場全中でベスト8

就任4年目の池田悠人コーチはアメリカ留学経験も指導に落とし込む。「知識よりも、しつこさとかこだわりとか、意識の差が大事ということベースに向き合っている」という。まずは選手に「みんながやろうと決めたことをやり抜こう」と伝え、全中では「3年生の個の力をルールに則って活かす」ことをやり抜くと決めて臨んだそう。チームポリシーとして「ポジションや役割の枠にはめすぎず、でもチームとしての約束は徹底すること」を大事にする27歳の若手コーチが日々考えるのは「教え過ぎない」ための方法。中学生が将来、長くバスケットボールを愛し、競争を楽しむ選手としてキャリアを続けてくれることが大目標だ。



高校生と同じ体育館で練習している  
報徳学園中学校の選手たち



# MIYAZAKI チーム 探訪 vol.2

## MIMATA JUNIOR HIGH SCHOOL 町立三股中学校 (女子)

全中  
準優勝



横山 祥子監督  
SHOKO YOKOYAMA

1970年、宮崎県小林市出身。小林高〜筑波大。1993年から宮崎県教員。久峰中、小林中、五十市中を経て2014年から現職。



### 逆転の連続で勝ち上がった「RED WINGS」 強さの根っこは

宮崎県南西部の中核都市、都城市に隣接する三股町は人口約2万5千人。都城市街地に近く立地に恵まれた住宅地も、県の名産である宮崎牛を育てる農畜産業も抱えつつ、子育て世代に人気の施策を推し進めるなどして、40年以上にわたって人口が少しずつ増え続けているという、全国的にも珍しい町だ。

都城市立五十市中を2012年、日本一に導いた横山祥子監督が同町唯一の公立中学校である三股中に赴任したのは9年前。全国制覇を目指し、子どもと保護者に伝えてきた4つの約束は、今でもことあるごとに伝えている。「さ

わやかな挨拶」「気持ちの良い返事」「黙々と清掃」「履物を揃える」。バスケットボールを語る前に日常生活を大切にすることは、1993年に教員となって以来、先輩指導者たちから学び続けた末に手にした答えだった。

#### 「学び続ける」覚悟

小林中で競技を始めた快活な少女は小林高、筑波大を経て宮崎県の教員となった。母校の小林中で女子部を担当して間もなく「自分が学んだバスケットだけでは全国に行くことすらできない」と思い知ったとい

う。自ら学び続けようという心を決め、折尾中(福岡)の永井種雄さん、一の宮中(熊本)の伊藤敏幸さん、深江中(長崎)の只熊一造さんら、九州のライバルとなる先輩の元へ通い詰めた。すると理論に裏付けられた厳しい練習とともに、絶対に必要だと実感したのが「人間力」の育成だった。良い選手である前に、良い生徒であること。人間としての根っこを大きく育てなければ、その先の成長はない。若き指導者はメタ魔となつて学び続けた。「学ばない指導者に出逢った生徒は、不幸だな」。筑波大の恩師、笠原成元さんに言われた言葉は、今も心に響き続けている。そしてその覚悟は生徒へ、保護者へと伝わり、11年前の日本一に結実した。

#### 最高の夏の先へ

全中の決勝戦後、最後の負けは指導者の責任だと背負いこんでいた。「初めて当たるチームと対戦する時、指導者がいかに分析し、修正点を指示できるかが鍵だ」とは、小林高の恩師、北郷純一郎さんからの言葉だ。やがてからは頂点を目指す。そう決めた彼女たちにとって目標に届かなかったことは残念な結果となったが、一方でこの夏は「最高の夏だった」と言い切ることができたのは理由があった。

「ユニホームを着た選手全員が必死にコート走り回る姿を見た。メリノール学院が相手

#### 互いを「信じる」チーム

横山監督は試合中、交代で戻った選手にほとんど声をかけない。これは11年前も今もまったく同じだ。代わりに豊永梨紗コーチが話す。「私が伝えたいことを間違いなく言うてくれる」という信頼は、彼女が県6連覇を果たした小林中の生徒だった頃からの年月によって醸成されたもの。そして「高さ以外ではどこにも負けない」と決めたチームでも、そこに向かって努力する生徒への信頼は揺るがない。例えば残り8分15点ビハインドの想定練習。本番並みに強度を上げて打ち込む子どもたちを誰よりも近くで見守ってきた。だから全中で「逆転の三股」と称賛される前から、指揮官も選手も「大丈夫、自分たちならやれる」という揺るぎない自信が間違いなくあった。そして保護者との信頼。監督が「協力ではなく、一緒に頑張っている」と感謝する親たちが応援する姿に、やられている雰囲気は微塵も存在していなかった。

手で11点差に引き離されても諦めなかった。叫びすぎて出ない声をさらに振り絞ってくれた保護者。自分たちに負けたその後に応援してくれたライバル校。日本一に値する準優勝だった。だからこそ三股はまた冬に向けて、もう一度頂点を目指して動き始めた。

身長ハンデをスピードでミスマッチに変え、攻撃的なディフェンスと高確率のスリーポイントを徹底的に磨くチーム哲学。それは、東京五輪で銀、先のW杯でパリ五輪出場権を掴んだトム・ホーバスのそれとも重なる。日本代表も「信じる」がキーワードだった。元気な町のよき生徒たらんとする彼女たちは、師を、仲間を、家族を信じて、きょうも笑顔と気迫の道を行く。



今年の夏、逆転のたびに笑顔の花を咲かせてきた三股中の選手たち

「RED WINGS」のチームカラーが鮮やかに輝く特製のボールかご



#### ツルヤ ▲TSURUYA 練習

女子西日本地域リーグの強豪、鶴屋百貨店(熊本)に教えてもらったことから、この呼び名に。ボールを持たないオフェンスと、両手を後ろに組んだディフェンスが、コートエンド間を2往復。次にディフェンスは両手を普通に返して2往復。「シンプルなアジリティトレーニングですが、ボールのない状態でハードに守ることができればボールを持った状況での守備はより粘り強くなる」。攻守ともに全力であることはもちろん、苦しいはずの選手も、周囲から応援する仲間も、写真には写っていないコートサイドの保護者も笑顔だった。

拝啓「横山 祥子さま」

子どもたちに対して常に一生懸命な、思いやりのあふれる先生を慕って、卒業生・OGの方々で練習場や試合会場へ足を運ぶ姿をこれまで数多く見てきました。今後も三股中の躍進はもちろんですが、4年後に開催される予定の宮崎国体(成年女子の監督でもあります)での活躍も楽しみにさせてもらいますね! オンザコート社員(九州担当)

田村 健一郎







# HOOPREX®

## BASKETBALL GOODS

Hard work beats talent when talent fails to work hard.

### 最強を纏う

地球史上最強のハンター

### T-REX









# Nissy's TRAVELING Talk

VOL.  
2

文 西嶋 浩彰

text by Hiroaki Nishizaki

神戸生まれ。学生時代10年間バスケットボールで汗を流し、現在は観戦専門。ここ数年はNBA、NCAAなど合わせて年間10試合以上を現地観戦。趣味はカレッジキャンパス巡り。

## 初めての台湾

パンデミックが無ければ、その間に恐らく2～3回は訪れたかもしれない台湾ですが、今回初めての訪台。そのきっかけになったのが、現在全日本大学バスケットボール連盟の男子強化委員長を務めている松藤貴秋先生(中京大学)から、「ジョーンズカップに参加するので、ユニフォームを作ってくれないか?」との問い合わせでした。二つ返事で引き受けたかったのですが、納品までの時間がかかなり短く、間に合うかどうか分からない、難しい状況の中、いろいろな方の協力があり、引き受けることにしたのが依頼を受けた翌日。手配してから納品するまで、トラブルが無いことを毎日祈りながらドキドキしていたことが思い出されます。

この時点では、台湾に行く予定はありませんでしたが、ちょうど会社が盆休みだったことと、中京大学OB(私の1学年下)の台湾人、現在台湾体育運動大学の教員をしている唐先生から「折角ユニフォーム作ったのに来ないの?」とお誘いを受け、行くことに決めたのが出発の1週間前。その後彼から「私は自分たちの大会があるから行けないんですけど」と連絡があり、若干イラッと(笑)。それでも私の滞在中、わざわざ日帰りで息子さんと一緒に会場まで来てくれました。手土産も忘れない、とてもいい後輩でした。

## ジョーンズカップ

女子は前の週に終わっていたので観ることはできませんでしたが、男子は日本学生選抜の8試合の内3試合を観戦することができました。出国当日の15時からのゲームを観戦する予定でしたが、飛行機の離陸が30分ほど遅れ、もともと試合開始ギリギリの移動だったこともあり、トスアップには合わない諦めていたところ、機長の頑張り(!?)で約10分の遅れで桃園国際空港に到着。心配していたイミグレーションですが外国人レーンはおのみ。さらに私を待っていたのかと思うくらいタイミングよく停車していたMRT(空港と台北を結ぶ電車)に乗って、台北駅から飛び乗ったタクシーの運転手が恐ろしく(汗)飛ばしてくれたおかげで、試合開始15分前に会場の「臺北和平籃球館」にたどり着きました。

と、ここまでは初めての訪台とは思えないくらいスムーズでしたが、お願いしていたADカードをスタッフの方から受け取るところで行き違いが…試合開始直前ということで誰とも連絡がつかず、10分くらいオロオロ、もうチケットを買って入ろうとしていたものの挙動不審な私。その様子を見ていたもぎりのお兄さんが、なんとチームのロッカールームまで案内してくれて奇跡的に一件落着となりました。

試合の方は、アメリカ代表として参加していたNCAA(全米大学体育協会)ディビジョンIのUC Irvine(カリフォルニア大学アーバイン校)に悔しい大敗(47-108)。その後の2試合も観戦し、気づいたら日が暮れていました。

翌日はUC Irvineと韓国代表のKGC(昨シーズン韓国プロリーグのKBL2位)の対戦が面白そうだったので会場へ行くことにしました。KBLはオンザコート1(外国籍選手の出場は1人)なのですが、アメリカ人選手を2名保有するKGCはスタートから彼らを同時起用。本気で勝ちにいき、なかなか見ごたえのある内容でした。結果は大接戦の末、87-82でアメリカの大学生が韓国のプロに勝ちました。

試合後は台湾に来た足跡を残そうと思い、『台北101』(高さ509.2mの超高層ビル)にある、行列のできるお店に小籠包を食べに行きました。ところが、帰国してから私が住む神戸にその店がある(!)ことを知りました。逆にそのお店には行ったことがないので、折を見て味の確認に行こうと思います。

## William Jones Cup

## ウィリアム・ジョーンズカップについて

ウィリアム・ジョーンズカップとは台湾の台北で1977年、第1回大会がスタートしたバスケットボールの国際大会。以来、毎年夏に行われているA代表扱いの招待大会です。

ところが2020年～22年はCOVID-19のパンデミック(感染拡大)により開催されなかったため、今年の夏(2023年)は4年振り42回目の開催となりました。各国・地域の参加チームはナショナルチーム、クラブチームなどさまざまですが、日本からは今回、男子は日本学生選抜、女子はWリーグに所属するシャンソン化粧品が参加し、それぞれ総当たりで試合を行いました。

### 男子参加チーム

UC Irvine(アメリカ)/イラン(ナショナルチーム)/カタール(ナショナルチーム)/UAE(ナショナルチーム)/Rain or Shine Elasto Painters(フィリピン)/Anyang KGC(韓国)/チャイニースタイペイ(ナショナルチームA/ナショナルチームB)/日本学生選抜

### 女子参加チーム

BNK(韓国)/イラン(ナショナルチーム)/フィリピン(ナショナルチーム)/チャイニースタイペイ(ナショナルチームA/ナショナルチームB)/シャンソン化粧品



日本学生選抜チームベンチ。中央奥はチームリーダーの池内泰明さん

3日目、日本学生選抜は韓国のKGCと対戦しました。スタートから明らかに余裕を見せるKGCに対し、日本学生選抜も出だしから素晴らしいプレーで応酬。果敢にゴールへ向かう日本学生選抜の姿に、次の台湾代表の試合を観に来たであろう大勢の台湾の皆さんが大歓声を送ってくれました。

そんな応援の中、今大会初勝利が期待できる内容でしたが、韓国のプロが1枚上手。勝負どころの3ポイントシュートは外しませんし、さすがプロでした。結果は89-97で惜しくも敗れましたがとても良いゲーム、観に来た甲斐がありました。4Qに根本大選手(白鷗大学3年)がドライブからダンクを決めたときの“どよめき”と松藤HCの“ガッツポーズ”は今思い出しても鳥肌が立ちます。



©Chinese Taipei Basketball Association

◀小柄(183cm)ながら韓国戦の豪快なダンクで観客の心を鷲掴みにした根本大選手

4日目、昨日のゲームの余韻が残るなか迎えたイラン戦。初勝利を目指すチームの「勝ちたいという気持ち」が明らかに観客席まで伝わってきました。開始早々からその気持ち通りの好プレーが連発、しかしA代表ではないもののナショナルチームとして参加していたイランからなかなかリードを奪えません。一進一退の攻防が続きましたが、最後に試合を制したのは日本学生選抜! 5試合目でうれしい初勝利(73-72)です。本当にメンバー全員が、40分間集中してプレーを続ける素晴らしい内容でした。MVPは21得点(7/10という高確率で3ポイントを決めた)で勝利に導いた小澤飛悠選手(日体大1年)だったと思います。ただし一番の殊勲者は、試合終盤の微妙なアウトオブバウンズのジャッジに対して、コーチチャレンジを使ってそれを覆した松藤HCかもしれません。



▶正確無比な3ポイントで得点を量産した小澤飛悠選手

これで終わり。「あと2試合は勝てる!」と松藤HCに言い残し帰国の途に就きました。(最終結果1勝7敗)。今回の日本学生選抜は20歳以下の若手で構成されました。ほとんどの選手が初めての国際大会だったようですが、堂々とした戦いぶりでとても良い経験になったと思います。今後、この中からBリーグや、A代表に選ばれて活躍する選手が出てくることを願ってやみません。

### 松藤 貴秋ヘッドコーチ

みなさまのサポートのおかげで、ジョーンズカップを戦い抜くことができました。また、イラン戦では貴重な勝利を掴み取れました。この大会を経験した選手が成長し、Bリーグ、ユニバーシアード、A代表と繋がっていくことを願います。ありがとうございました。

### 川面 剛アシスタントコーチ(左)

今回、選手、スタッフは、JAPANのロゴが入ったウェアを着て代表の重みを感じながら、精一杯戦い、成長をさせて頂きました。本当にありがとうございました。



▶アダム(右)とロバート(左)のヒントン兄弟は、チャイニースタイペイBチームの選手ですが早く撮影に応じてくれました。お兄さんのアダムは現在NCAAディビジョンIのアイビーリーグ、コーネル大学に所属しており、2歳下の弟ロバートは同じアイビーリーグのハーバード大学に2024年入学予定とのこと。2人のおじさんはあのリチャード・ハミルトン(デトロイト・ピストンズで2004年優勝、オールスター選出3回のスター選手)。台湾の次世代を担う甥っ子スター選手にも要注目です!





## バスケットボールにまつわるあれこれを幅広くお届けします。

ハッスルボード編集部  
Hustle Board Editing Division

all about basketball

シューズ

Wリーグ

You Tube

## TOPIX 1

バスケットボールに欠かせないもの、それは「バッシュ」。最高のプレーを支える裏側を探るため、神戸に開発拠点を置く「アシックスジャパン」カテゴリー統括部の案浦萌さんに秘密を聞いてきました。



### Q ASICSのバッシュって、どのように作られているんですか？

開発の拠点は神戸・ポートアイランド、商品企画やマーケティング担当者は東京で、連携しながら開発・企画を行っています。実際世に出るまでは合計3回サンプルを作り、性能に関するテストなどを行います。

### Q アシックスにはどのような特徴があるのでしょうか？

これまでのイメージとして「クッション性」と「剛性」が足りない、という弱みがありました。(そんな風に思ったことないけど…仕事に厳しいですね) そんな印象を覆すべく開発したのがUNPREARS (アンプレアス) シリーズとNOVASURGE (ノヴァサージ) シリーズです。サイドウォール (ソールの外側にせり出した部分が文字通り壁となり、繰り返し動作など横方向の動きをサポート) が特徴のアンプレアスは剛性と軽さを両立し、激しいステップワークをサポートします。ノヴァサージは現行ラインナップの中で最も厚いミッドソールを採用し「クッション性」が強みで、ジャンプ動作をサポートし高さで勝負するプレイヤーをサポートします。他にも女性に特化したサポート性能を備えるLADYGELFAIRY、縦方向のスピードが持ち味の選手にお勧めのGELBURST、エントリーから幅広くお勧めのGELHOOPなど、体格や年代に合わせた全12種類の中から自分に合った一足が見つかるはずです。

### Q こだわりが凄いですね。河村勇輝選手もシューズを変えたとか。

ワールドカップではアンプレアスLOWを着用されました。アシックスとしてはフィジカルのレベルアップに応じてシューズの履き替えを推奨しています。以前着用していたGLIDENOVA FFは軽さとフィット性が売り。スピードで守備の合間をかいくぐっていく河村選手に合っていたと思いますが、高校卒業後筋肉量の増加とスキルの進化に伴い、速さだけでなくフィジカルでも競り合う場面が増え、体格の大きな相手とのマッチアップも増えました。プレー内容の変化に伴い、剛性やサポート性に優れたアンプレアスに変更し、活躍を足元で支えています。河村選手自身も「これまでは軽さを重要視して選んでいたが、自分の足への負担等を考えると、ある程度の

重さのあるシューズでもサポート性が必要」と話していて、選手自身にもプレーや体格の変化による履き替えの重要性を感じてもらっています。

### Q どんなレベルでも自分に合ったバッシュ選びは大事ですか？

特性として「常に動き続けている」「全員攻撃、全員守備」「急ストップや切り返し、急加速など激しい動き」「身体接触が多く、相手の体重を支えることも多い」など、足への負担がかなり大きな競技です。「ケガしない」ための観点はもちろん、最大限良いプレーのためにも重要です。シューズを世に出す人間として常にこのように考えて作っていますから、アシックスを選んでくれた皆さんを後悔させたくない、という思いは強くあります。企画～開発～販売までの性能テストはもちろん、選手に対するヒアリングも機能・デザイン含めて数多く実施しています。これからも「求められる商品」「満足していただける商品」を開発できるように心がけていきますね！

#### NOVA SURGE シリーズ



高さ

クッション性

反発力

#### UNPRE ARS シリーズ



強さ

サポート性

安定性

#### GLIDE NOVA FF シリーズ



速さ

フィット性

軽さ

#### ジュニア向け(3シリーズ)



成長に合わせて

サポート性

クッション性

速さ

## TOPIX 2

## 塚本清彦バスケちゃんねる TSUKA3CHI - 塚さんち

NBA解説などで知られる塚本清彦さんが今夏、バスケットボールにまつわるネタをとことんしゃべり尽くすYouTube「塚本清彦バスケちゃんねる-TSUKA3CHI-」を開設した。まずは大学バスケ界の名将とBリーグの人気選手をゲストに熱くおもしろトークを繰り広げ、ワールドカップの話題にも肉薄。「塚さん」が推しの話題を続々とお届けする。

育英高～明治大を経て、日本鋼管時代には北原憲彦さんや陸川章さんらとリーグ優勝を果たすなどポイントガードとして活躍。明大ヘッドコーチなどを歴任し、軽妙なトークと幅広い知見で国内の学生大会からNBAまでカバーする人気解説者として活躍する一方、全国各地でクリニック活動にも取り組んでいる。

8月に配信が始まった第1回のゲストは、東海大学を全国屈指の強豪に育て上げた陸川監督。お互いに現役時代の「昔話」も振り返りながら、河村勇輝選手ら教え子を中心に日本バスケの未来についても自由自在に語り合った。W杯予想回も挟んで、第2回には現役Bリーガーの渡邊裕規選手(宇都宮ブレックス)が登場。目標にした(意外な) NBA選手やチームメイト秘話、農業プロジェクト(!)についてもしゃべり倒す。

今後、福岡第一高の井手口孝監督をゲストに迎える企画や、月1回のペースでYouTubeトークライブを実施する予定。バスケ愛とおもしろ無限トークは止まらない。



## TOPIX 3

今年で第25回を迎えるWリーグの開幕会見が9月末、東京都新宿区の京王プラザホテルで開かれた。四半世紀の節目となる今季、史上初のファン(Wリーグユニバース有料会員限定)参加型で会場が埋まる中、14チームから各2人の28選手が陽気な素顔ものぞかせつつ、迫る戦いへの意気込みを語った。

冒頭で原田裕花会長は「男子日本代表の活躍で盛り上がる中、Wリーグのひたむきで世界トップレベルのプレーもご覧いただきたい」とあいさつ。2024-25シーズンから2ディビジョン制が導入されるWリーグ。今季の上位8チームが国内トップとなる「プレミア」、下位6チームで「フューチャー」に振り分けられるため、スローガン「GO SURVIVE」の通り、生き残りをかけた激しい戦いとなるのは必至。昨季ファイナルで死闘を繰り広げたENEOSサンフラワーズとトヨタ自動車アンテロープス、レギュラーシーズンを制したデンソーアイリスなどは日本一への強いこだわりを、下剋上を虎視眈々と狙う下位チームはベスト8への熱い思いをファンに伝えた。

また今季、1月上旬から2月末はパリ五輪最終予選のための中断(1/13・14にスーパーゲームズを高崎アリーナで開催)や3/30～4/15のプレイオフ(クォーターファイナルまで高崎アリーナ、セミファイナル以降武蔵野の森総合スポーツプラザ)、5/3・4のオールスター(@豊田合成記念体育館ENTRIO)などの日程も発表された。さらにリーグ創設25周年の歴史の中で「W」を盛り上げ貢献した選手25人を選ぶ『GREATEST25～25years 25players～』を実施することも決まった。選考の詳細は後日発表となる。





## アンケートに答えて 豪華プレゼントを もらおう!!

読者  
プレゼント

W杯決勝のために作られ、全世界1,200個限定で発売 (SOLD OUT)された①モルテン社製バスケットボール、その大会で河村勇輝選手が着用していた同モデルの②アシックスシューズ、③神戸ストークスの観戦ペアチケットのいずれかをそれぞれ1名様にプレゼントします。応募資格は「バスケットへの熱い思いとエピソードを持ち、教えていただける方」。バスケット愛さえあれば地域、年齢、性別、カテゴリーなど問いません。当選された場合、誌面掲載にご協力いただく場合があります。予めご了承ください。

### 1 モルテン社製 (BG5000FIBA) バスケットボール ワールドカップ2023 決勝戦専用公式試合球



ネイスマストロフィーと決勝戦の日付が刻まれた限定販売品。ボールにはシリアルナンバーが焼印で刻まれており、専用化粧箱(シリアルナンバータグ付き)入りです。

### 2 アシックス 河村勇輝選手着用モデル UNPRE ARS LOW (クリーム/ゴールドイエロー) [26.5cm]



素早い切り返しや左右への激しいステップワークを支えるための安定性にすぐれた「アンプレアルス」モデルのローカットタイプ。

### 3 神戸ストークス 2023-24ホーム観戦ペアチケット



締切 2023年11月20日(月) 23時59分

※回答はお1人1回までとさせていただきます。  
※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。  
※発送は2023年11月下旬を予定しています。  
※本アンケートは予告なく変更・中止させていただく場合がございます。

スマートフォン、PC、タブレットから応募

<https://onl.la/yKpicUr>

にアクセスしてアンケートにお答えください。

※一部の端末・機種でご利用いただけない場合があります。予めご了承ください。



なにもJR神戸線の駅名を並べたわけではない。熱心なバスケットファンならご存じだと思うが、2011年に創設された『ストークス』のホームタウンの変遷だ。兵庫県初のプロバスケットボールチームとして誕生し、県鳥であるコウノトリにちなんだストークスの愛称はそのままに、ホームタウンが移転したことを意味している。

創設当初は兵庫県全体をホームタウンとし、旧トップリーグJBLの下部組織、JBL2で活動を開始した。初代ヘッドコーチ、BTテブス氏——現在、Wリーグの富士通レッドウェーブHC、というよりテブス海選手(アルバルク東京)、テブス流河選手(アメリカ留学中)のお父さんといったほうがわかりやすい!?——に率いられ、2012シーズンにリーグ優勝を果たした。

その後、JBL2からNBLを経て、2015年には本拠地を西宮へ移転。Bリーグ初年度はB2からのスタート。すぐに結果を出し、中地区を制してB1昇格を果たしたが、残念ながら1年で降格し、その後はB2に定着したままだ。

しかし2023年、ビッグプロジェクトが動き出した。神戸をホームタウンとする『神戸ストークス』へと生まれ変わり、約8千人収容の「ワールド記念ホール」がメインアリーナに……というのはまだ序ノ口。2026年の秋に開幕す

る「新B1」(Bリーグプレミア)入りを視野に、もつと大規模なプロジェクトが進行しているのだ。

神戸港の新アリーナへ

言わずと知れた港町・神戸だが、ここ数年、ベイエリアの再開発が盛んで『神戸アリーナ (Kobe Smartest Arena)』もそのひとつ。再来年4月の開業を予定しており、当然、神戸ストークスのホームアリーナとして活用される(6、7ページ参照)。

最新の音響・照明設備を備えたアリーナでストークスの選手たちが躍動する、そんなシーンを想像するだけでワクワクする。最高峰の舞台で戦う選手をここで観ることができるのだ。

ならば必要なのは、大声援のあと押し。阪神タイガースがアレしたように、ストークスのアレだつて大丈夫! まずは今シーズン、ストークスの尻を叩きにホームゲームへ行こう。推しの選手のグッズを買って、観客席をグリーン一色に染めてしまおう。

バスケの面白さを知っている貴方、ぜひ誰かを誘って観に行ってください。みんなでバスケ、応援しましょう。



Vol.2

皆人公平、

寄港中

皆人公平

text by kobe innato  
スポーツ好きの編集者・ライター。とりわけバスケットボールはプレー歴があり、好きが高じて、仕事として取り組むようになった。スポーツに限らず、さまざまなジャンルの書籍や雑誌、パンフレットなどの制作・原稿執筆も経験。近頃は関西バスケットに興味をそられている。



ON THE COURT, Inc.

バスケットボールに関わるすべての人たちのために

Involved in basketball for everyone.

